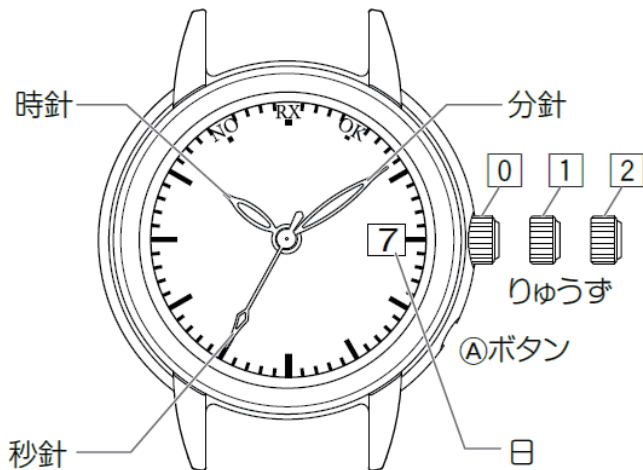


RADIO STAR カレンダー機能付(レディスモデル) 簡単操作ガイド

- ・この時計はソーラーパワーウォッチです。文字板を光に当てて、十分に充電された状態でお使いください。
- ・充電時間 / 仕様 / 操作の詳細は、取扱説明書をご参照ください。

各部の名称



受信結果を確認する

この時計は、日本の標準電波を毎日午前2時と午前4時に受信し、時計/カレンダーを自動で合わせます。

1. Aボタンを押す
秒針が、受信結果（「OK」または「NO」）を指します。

表示	受信結果
OK	受信に成功したとき。
NO	受信に失敗したとき。 (手動で受信を行ってください)

- ・モデルによって、秒針の「先の部分」で指すものと「尾の部分」で指すものがあります。
- ・受信結果を表示して10秒間経過すると、自動で時刻表示に戻ります。Aボタンを押すと、すぐに戻ります。
- ・電波を正しく受信しても、受信環境や時計内部処理により、時刻表示にわずかなずれが生じます。

電波を手動で受信する(強制受信)

- ・受信が完了するまでに最大約15分かかります。

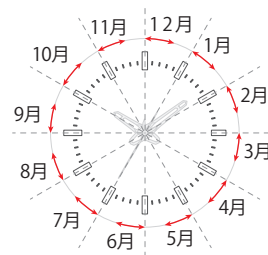
1. りゅうずの位置を①にする
2. Aボタンを2秒間以上押し続ける
秒針が「RX」を指し、電波受信を始めます。受信が終了すると、秒針が通常の動きに戻ります。

時刻とカレンダーを手動で合わせる

この時計のカレンダーは、うるう年を含む2100年2月28日まで、修正不要です。(パーペチュアルカレンダー)

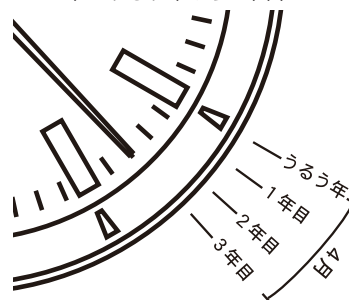
1. りゅうずの位置を②にする
秒針が30秒を指します。
2. Aボタンを押す
秒針が0秒の位置に移動します。

3. りゅうずを回して、分を合わせる
 - ・分針に連動して時針が動きます。
 - ・りゅうずを素早く回転させると、分針が連続して動きます。りゅうずを少し回すと止まります。
 - ・日表示が切り替わったときが午前0時です。午前/午後を間違えないよう注意します。
4. Aボタンを押す
時針がわずかに動きます。
5. りゅうずを回して時と日を合わせる
 - ・日は自信と連動して替わります。
 - ・りゅうずを素早く回転させると、時針が連続して動きます。りゅうずを少し回すと止まります。
6. Aボタンを押す
秒針が現在の月と年を指します。
7. りゅうずを回して月と年を合わせる
 - ・月は、時刻の「時」の範囲で示されます。



- ・年は、うるう年からの経過年数で表示され、各月の範囲内での秒針の位置で示されます。

(例) 2015年4月に合わせるときは
4月→4時の範囲
2015年→うるう年から3年目

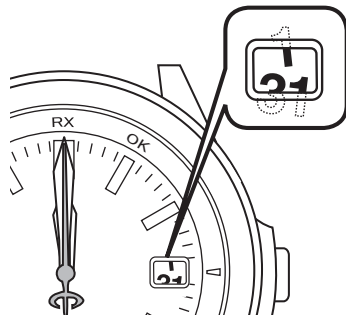


- ・りゅうずを素早く回転させると、秒針が連続して動きます。りゅうずを少し回すと止まります。

8. りゅうずの位置を①にして、終了する
現在の時刻に戻ります。

基準位置を確認する

1. りゅうずの位置を①にする
2. 右下の ① ボタンを押す
秒針が動き、前回の受信結果を表示します。
3. りゅうずの位置を②にする
各針が高速で動き始め、現在の日時が基準位置を表します。
 - ・ 前回の受信結果が表示されている間に行ってください。
 - ・ 正しい基準位置:
すべての針が12時位置、
日表示が「31と1の間」
 - ・ 日表示が反時計回りで切り替わる場合は、「1」を表示する場合があります。
4. りゅうずの位置を①に戻し、① ボタンを押す
時刻表示に戻ります。



基準位置を修正する

1. りゅうずの位置を①にする
2. 右下の ① ボタンを押す
秒針が動き、前回の受信結果を表示します。
3. りゅうずの位置を②にする
各針が高速で動き始め、現在の日時が基準位置を表します。
 - ・ 前回の受信結果が表示されている間に行ってください。
 - ・ 正しい基準位置:
すべての針が12時位置、
日表示が「31と1の間」
 - ・ 日表示が反時計回りで切り替わる場合は、「1」を表示する場合があります。
4. ① ボタンを押す
時針が動き、時針と日の位置を修正する準備が出来ました。
5. りゅうずを回して、日表示を「31と1の間」に合わせ、
時針を「12時」に合わせる
りゅうずを素早く回転させると、時針が連続して動きます。
りゅうずを少し回すと止まります。
6. ① ボタンを押す
分針と秒針が動き、分針と秒針の位置を修正する準備が
出来ました。
7. りゅうずを回して分針と秒針をともに12時の位置に
合わせる
8. りゅうずの位置を①に戻し、① ボタンを押す
時刻表示に戻ります。